

ヒカリギセルの繁殖に及ぼすカルシウム資材の効果

福島県農業試験場梁川支場
平成16年度福島県農業試験場試験成績概要
分類コード 09-99-02000000

部門名 蚕糸－その他－採種・繁殖
担当者 矢内正見・野木照修

I 新技術の解説

1 要旨

阿武隈地域の桑園に生息しているヒカリギセルは、肝機能に効果のある健康食品として需要が増加している。

しかし、荒廃した遊休桑園ではその生息数は少なく、また、これの増殖飼育技術には、繁殖率の向上が重要なポイントである。そこで、ヒカリギセルに対するカルシウム資材の効果により、繁殖率を高める安定生産技術を確立した。

- (1) カルシウム資材は、繁殖率向上および孵化幼貝の成育促進に効果のあることがわかった。
- (2) 施用量は、200～300g／㎡が適正量であると判断された。

2 期待される効果

カルシウム資材を活用することにより、繁殖率が向上し、さらに孵化幼貝の成育が促進されるため安定した生産が可能となる。

3 適用範囲

阿武隈地域のヒカリギセル飼育農家

4 普及上の留意点

- (1) カルシウム資材の施用は、飼育床の上から均一に散布する。
- (2) 施用時期は、ヒカリギセルの繁殖期間中の5月と7月に200～300g／㎡を等量分施する。

II 具体的データ等

表1 カルシウム資材と繁殖率

試験区名	施用量 ㎡当たり	放 貝			孵 化 貝	
		放貝数 (個体)	生存 (個体)	生存率 (%)	個体数 (個体)	繁殖率 (%)
炭酸カルシウム	100 g 区	100	63	63	240	240
"	200 g 区	100	65	65	339	339
"	300 g 区	100	68	68	416	416
"	400 g 区	100	64	64	296	296
"	500 g 区	100	61	61	242	242
卵殻石灰	200 g 区	100	67	67	482	482
"	300 g 区	100	80	80	577	577
対照区（無施用）		100	59	59	127	127

注）放貝：4月12～13日（1区100個体） 採集：11月18～24日
繁殖率：放貝個体数に対する本年孵化した成貝と幼貝個体数の割合

表2 カルシウム資材と孵化貝の成長

試験区名	施用量 ㎡当たり	幼 貝 (個 体)		成貝 (個体)	合計 (個体)	10mm以上個体割合	成貝個体割合
		10mm以下	10mm以上			(%)	(%)
炭酸カルシウム	100 g 区	121	81	38	240	49.6	15.8
"	200 g 区	188	156	65	339	56.8	16.7
"	300 g 区	183	175	58	416	56.0	13.9
"	400 g 区	159	106	31	296	48.3	10.5
"	500 g 区	118	81	43	242	51.2	17.8
卵殻石灰	200 g 区	225	212	45	482	53.3	9.3
"	300 g 区	264	245	68	577	54.3	11.8
対照区（無施用）		86	41	0	127	32.3	0.0



図 1 ヒカリギセルの成貝

Ⅲ その他

1 執筆者

矢内正見、菅野雅敏

2 主な参考文献・資料

なし